

# 令和6年度「デジタル田園都市国家構想交付金活用事業」評価結果

(令和7年6月)

## ○ デジタル田園都市国家構想交付金について

デジタル田園都市国家構想交付金は、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、他の地域等で既に確立されている優良モデル等を活用した実装の取組や地方への新たな人の流れを創出する取組等の費用に充てるために、国が地方公共団体に対して交付金を交付する制度。

デジタル田園都市国家構想交付金を活用する事業にあっては、ふさわしい具体的な重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCAサイクルによる成果を重視した事業を展開するとともに、事業年度毎に、外部有識者等による効果検証を行い、その結果について公表し、かつ、国へ報告することとされています。

昨年度は、地方創生推進タイプを2事業、地方創生拠点整備タイプを1事業、 デジタル実装タイプを6事業を実施しました。

地域再生計画の名称	事業概要	取組内容	KPI (令和6年度)		指標の達成度 (自己評価)	改革改善の方向性 及び課題・解決策	
			目標値	実績等			
【交付金名：デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）】							
移住・定住・シビックプライド醸成に向けた若者による真岡ファン創出プロジェクト  (R5～R7年度対象)	高校生が主体として活動する高校生クラブ「真岡すきすきシェアクラブ」などの若者目線での本市の魅力の発信を行っていく。若者の市内定住や将来的なUターン、関係人口を創出するために、高校生の地域活動の輪を広げていくとともに、子の進学・就職等が高い影響を持つ親世代などの市民にもまちの魅力発信することで、郷土愛を醸成し、他者勤奨意欲を高めることで、若者の定住やUターンを促進を促進する。 また、若者の市民活動が活発な本市の魅力東京圏に発信することで、将来的な移住を視野に関係の深度化を図る。	高校生が主体として活動する高校生クラブ「真岡すきすきシェアクラブ」などの若者目線での本市の魅力発信をInstagramで発信するとともに新たな魅力を発見できるよう複数回の街歩きや、特産品である「いちご」を使用したスイーツを開発・販売を実施した。 また、本市の魅力の一つである生産量日本一のいちごについて、首都圏における認知度を高めるためデジタル広告を配信するとともに、移住施策等を定期的にSNSで発信することで、若者の定住やUターン促進に取り組んだ。 さらに、デジタル広告とSNSによる情報発信は、効果計測の結果により広告配信や投稿内容を見直し効果のある情報発信を目指した。	真岡すきすきシェアクラブ Instagramフォロワー数	2,500人	2,261人	B  「真岡すきすきシェアクラブ」については、毎月の活動参加人数が低迷したことで、目標としたInstagramの投稿数に達しなかったことからフォロワーの増加に至らなかった。 また、シビックプライドを高め、自らもまちに関わりをもってもらうため、若者が積極的に地域づくりに取り組む様子を発信したが、まちづくりに参加するまでに態度変容には至らなかった。 SNSやデジタル広告については、効果計測により定期的な配信見直し、投稿内容の検討を実施した結果、設定したKPIを上回る結果となった。	事業継続  今後は、「真岡すきすきシェアクラブ」については、参加する高校生の意向や学校行事等を把握することで参加意欲や参加人数を増やしInstagram投稿数の目標達成によりフォロワー数の増加を目指すとともに、参加者が複数年継続して参加してもらえるような事業に取り組む。 また、シビックプライドについては、若い世代だけでなく幅広い世代に態度変容を促せるよう本市の取組みや魅力を幅広い情報を発信していく。 さらに、SNSについては、ターゲットや発信内容に応じて新たなアカウントを開設し情報発信に取り組むとともにデジタル広告については、これまでの効果計測を踏まえ、今後も計測を実施し配信広告を見直し、クリエイティブや文面の改善をすることでKPIの達成を目指していく。
			まちづくり活動に参加している市民の割合	46.50%	47.4%		
			デジタル広告閲覧回数	16,100回	39,199回		
			移住相談件数	69件	331件		

地域再生計画の名称	事業概要	取組内容	KPI (令和6年度)		指標の達成度 (自己評価)	改革改善の方向性 及び課題・解決策
			目標値	実績等		
「いちご王国栃木の首都もおか」交流人口拡大・地域経済活性化プロジェクト  (R6～R8年度対象)	着実な農業振興により培われた本市最大の特色である生産量「日本一のいちご」を観光や商業の振興にも活用することで、新たな人の流れを創出し、地域の活性化を図る。 「いちご」をテーマとした観光イベントの開催、高付加価値商品の開発の補助などを行うとともに、行政及び民間事業者の観光DX化を図ることで交流人口の増加に加え、地域経済の活性化に繋げる。	「いちご王国栃木の首都もおか」をテーマとした市制施行70周年イベント「ストロベリーワールドin真岡」を開催し、観光PRのみならず、市内外の事業者と連携した企画・運営を行うことで、「いちご」をきっかけとした観光事業の展開に向けた機運の醸成を図ることができた。加えて、観光拠点等を対象としたデジタルスタンプラリーの実施や、東京圏を対象とした観光情報の発信や大学生との連携事業を実施し、観光誘客と認知度向上を目指した。 また、市内事業者向けのGoogleビジネスプロフィール支援事業や、位置情報等分析ツールを用いる観光施策の検討、真岡市国際交流協会と海外友好都市ハーヴィー市によるバーチャルツアー支援を実施することで、データドリブンに基づく観光DXの推進を図った。	地域における観光消費額		B 「ストロベリーワールドin真岡」については2日間開催し、イベント全体で48,000人の来場者を獲得した。約70%が市外からの来場者であり、うち約50%が県内、約20%が東京圏約6%を含むその他であった。また、真岡市産いちごを使用したスイーツ等が早期に売切れとなったことから、関係人口の創出と地域経済の活性化の契機として一定の効果が認められる。 デジタルスタンプラリーについては、約3ヶ月の期間で、市内10箇所の観光、文化施設等をポイントに設定し実施。閲覧数6683、参加数315であった。閲覧者、参加者の分析も行い、観光ターゲットの設定に一定の効果を得た。 (BGP) GBPの普及促進を図るため、セミナーを2回、個別相談会を1回実施。26の事業者が参加し、10の事業者において定期的な投稿や口コミへの返信など、GBPに改善が見られ、一定の効果が得られた。 (バーチャルツアー) ハーヴィー市民(小学生を含む)90名がバーチャルツアーを視聴し、現地メディアや新聞記事への掲載、ハーヴィー市インスタグラム・公式YouTubeでの動画配信を通じて広く周知された。実施後のアンケート調査では回答者全員が真岡市への訪問を希望しており、来訪意欲の向上につながったが、来訪実績はまだない。	<b>事業継続</b>  新たに、6次化産業等を支援する「商品開発支援補助金」を創設すると同時に、地域おこし協力隊を活用し「いちごマップ(仮称)」の作成とSNSでの発信を強化することで、イベントによって醸成された観光事業の展開に向けた機運を具体的な事業展開とへ繋げる。 また、海外友好都市とのバーチャルツアーを、よりインバウンドを意識した内容へ事業を拡大し、台湾斗六市とのバーチャルツアーの実施に加え、観光ガイドブックを作成する。  (観光情報発信委託事業) R6のデジタルスタンプラリーの分析結果をもとに、ターゲットを設定し、観光デジタル広告の配信を行うことで、効果的な観光情報の発信に繋げる。 (BGP) R6に実施した、セミナー、個別相談会のほか、事業者に対する伴走支援を行うことで、GBPの活用による売上増などの成功事例をもとに、更なる普及促進を図り、地域経済の活性化に繋げる。 (DSインサイト) シティプロモーションや観光分野で、人流や来訪者属性の可視化により、施策の検証や戦略立案に有効だった。来年度は都市計画分野への応用も視野に入れ、時系列データによる傾向分析を活かして、まちづくりの戦略策定に役立てたい。
			700,000千円	525,000千円		
			観光入込客数			
			215万人	237万人		
			観光情報(市HP)閲覧回数			
			650回	12,494回		
外国人宿泊者数						
850人	1,605人					

地域再生計画の名称	事業概要	取組内容	KPI (令和6年度)		指標の達成度 (自己評価)	改革改善の方向性 及び課題・解決策
			目標値	実績等		
【交付金名：デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）】						
<p>くつろぎの空間創出による滞在時間向上・周遊拠点整備プロジェクト</p> <p>(R6年度対象) ※R6年度供用開始 ※地方創生推進タイプ採択分を含む</p>	<p>「いがしらリゾート」の滞在時間や滞留時間の延伸を図るとともに、東京圏などから観光客を呼び込むための拠点である「真岡井頭温泉」「井頭温泉チャットパレス」の魅力向上に資する事業を展開する。</p> <p>また、温浴・宿泊施設の運営を通して地方創生事業に取り組んでいる民間コンサルの知見を活かした施設整備等を行うことで、施設の魅力向上のみならず、周辺施設及び市内全域の活性化に結びつくよう実施内容の検討を行う。</p>	<p>真岡井頭温泉について、いがしらリゾートのターゲットであるファミリー層の誘客につながるよう、多様なニーズに対応したくつろぎの空間等の創出に合わせ、日本一のいちごを始めとした食の魅力を伝える飲食スペースを整備するとともに、施設全体を「いがしらリゾート」のコンセプトである「癒し」の魅力を伝えることができるような施設へ改修した。</p> <p>また、井頭温泉チャットパレスについては、本館利用を促すために客室やレストラン、ロビーなどを整備することで、利用者満足度の向上を図るとともに、宿泊による滞在時間の延伸に合わせ市内周遊を促すのハブ拠点施設へ改修した。</p>	地域における観光消費額		<p>B</p> <p>北関東初のおふるcaféとして令和7年3月27日にリニューアルオープンを果たした。</p> <p>改修後の供用開始が年度末であったことから交付金事業の効果は反映されておらず、当該年度のKPIについては未達が多いものの、利用者は確実に増加しており今後の数値の伸びを期待できることからB評価とした。</p>	<p>事業完了</p> <p>交付金の事業としては終了。今後は「いがしらふぁーむ」を含めた関係施設と連携した周遊性を高める取組みを検討し、「いがしらリゾート」としての利用促進を図っていく。</p>
			447,000千円	525,000千円		
			真岡井頭温泉及び井頭温泉チャットパレス利用者数			
			240,000人	6,821人		
			真岡井頭温泉市外利用者的人数			
			120,000人	2,865人		
井頭温泉チャットパレス(本館)稼働率						
47.00%	70.83%					

地域再生計画の名称	事業概要	取組内容	KPI (令和6年度)		指標の達成度 (自己評価)	改革改善の方向性 及び課題・解決策
			目標値	実績等		
【交付金名：デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）】						
スマート申請システム導入によるデジタル窓口構築事業  (R4年度対象)	真岡市では、市民課窓口で住所異動等の届出を行う際に、「かんたん窓口システム」を導入することで「書かせない」市役所を実現させている。今後、更なる行政サービスの拡充に向けて、オンラインで申請等が完結できる「スマート申請システム」を導入することで、市民にとって利用しやすいデジタル窓口を構築することで、「来させない」「待たせない」「書かせない」市役所を目指すことで、本市のDXビジョンである「ハイフレックス市役所」の実現を図る。	「かんたん窓口システム」に加え、「来させない」市役所の推進を図るため、「スマート申請システム」を導入し、566件のオンライン申請が可能とした。 スマート申請システムとかんたん窓口システムの連携による「待たせない窓口」については、未実装である。	かんたん窓口システム利用数		A	KPIについては達成することができている。オンライン申請利用数については目標を大幅に上回っており「来させない窓口」を実現している。
			5,500件	8,527件		
			オンライン申請利用数			
			600件	27,796件		
			申請平均所要時間の削減率			
			10.0%	44%		
			窓口対応に満足している市民の割合			
			98.2%	98.4%		
マイナンバーカード交付率						
60.0%	79.6%					
AIチャットボット等による広報DX市ホームページ再構築事業  (R4年度対象)	市民等が情報を取得しづらい市HPを利用者目線で使いやすく、伝わるHPへと再構築する。また、現在、市公式LINEで先行導入されているAIチャットボットをHPに導入することで、更なる利便性の向上につなげる。また、首都圏向けにデジタル広告を配信することにより、閲覧者を市HPに誘導し、本市の魅力を知ってもらうことで、観光誘客や移住定住の促進につなげる広報DXツールとしても活用する。	HPの再構築に伴い、AIチャットボットを導入し、市民等からの問い合わせへの回答機能を追加した。 AIチャットボットのシナリオ改善を行うことで利用回数の増加に繋がった。 HPについては、課を跨いだ「子育て応援サイト」「防災ページ」を作成することで市民にとって必要な情報にまとめてアクセスできるようになった。	AIチャットボット問い合わせ数		B	AIチャットボットについては目標を上回っており24時間いつでも問い合わせが可能なサービスを実現している。一方で、情報を得ることに関する満足度は観光誘客については目標値に至っていない。
			3,600回	5,314回		
			平均セッション時間			
			25秒	未計測		
			サイト全体のページビュー数			
			370万回	339万回		
			市制に関する情報が得られたと感じる市民の割合			
			74.4%	63.1%		
観光入込客						
321.27万人	237.13万人					
						事業完了  オンラインでの事前申請内容を窓口での手続きに活用する「待たせない窓口」の実装を目指す。
						事業完了  HPのリニューアルとあわせて作成したガイドラインに基づき、市民目線の分かりやすい情報発信を実施している。 生成AIなどの新たな技術によるサービスの見直しも考えられるため本再構築事業としては完了とする。

地域再生計画の名称	事業概要	取組内容	KPI (令和6年度)		指標の達成度 (自己評価)	改革改善の方向性 及び課題・解決策
			目標値	実績等		
デジタル活用によるもおかっ 子“わくわく”教育プロジェ クト  (R5年度対象)	学校生活における児童生徒の満足度 や意欲、学級集団の状態等を測定する QUテストを紙面での調査からデジタ ルでの調査に変更する。デジタルを 活用することで、集計時間の短縮を図 り、リアルタイムでの学級経営に活 かし、児童生徒が安心して学べる環 境を創出することに加え、QUテスト の結果と学力検査の結果を連携する ことで、学校生活のトータルサポ ートを行い、もおかっ子の教育環 境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活における児童生徒の満足度や意欲、学級集団の状態等について、年間2回、児童・生徒が学習用タブレット端末を利用して回答する。</li> <li>担任と学年主任、管理職やいじめ・不登校対策主任で各学級の状況を共有し、今後の学級経営の方針の一助にする。</li> <li>回答状況の推移から、個別に対応が必要な児童を洗い出し、必要な支援を行う。</li> </ul>	WEBQU実施率		B	<p>WEBQU導入2年目であったが、実施率97.5%ということ、日常的に活用している。</p> <p>また、利用回数の5428WAIは全国的にみても高い数値であり、児童・生徒が高い頻度で学習用タブレット端末を利用していた。</p>
			96.0%	97.5%		
			授業・学習支援ソフト 利用回数			
			4400 WAI	5428 WAI		
			いじめ・不登校の可能性が低い 児童生徒の割合			
			60.0%	61.1%		
			とらぎっ子学習状況調査における 親との差（中学校2年生）			
			+1.2 ポイント	-0.94 ポイント		
WEBQUの利用満足度		B	<p>複合交流拠点施設monacaの開館に合わせた導入事業であり、実績を見ると、自動貸出機による貸出冊数や、予約受取システムの利用件数が増加している。また、図書館の貸出が楽になったと考える市民の割合が62.7%であり、蔵書管理の効率化や利用者の利便性の向上に繋げることができた。</p>			
90 ポイント	未計測					
自動貸出機による 貸出冊数						
48,000冊	51,585冊					
ICタグでの貸出し可能な 図書の資料数						
289,500 冊	280,240 冊					
予約受取システムの利用件数						
2,080件	3,324件					
ひとり当たりの貸出冊数		B	<p>管理運営側にはICタグでの蔵書管理の効率化や、事務の効率化を図ることで、より良いサービス提供に繋げていく。また、利用者には利便性を向上させることで、貸出冊数を増加させ、読書環境の充実を図り、生涯学習の機会の提供に努める。</p>			
3.5 冊/人	3.0 冊/人					
まちづくり活動に参加する 市民の割合						
43.9%	47.40%					
図書の貸出が楽になったと 考える市民の割合						
50%	62.7%					
新図書システムは、真岡市立図書館及び真岡市立二宮図書館を含むネットワークシステムで、「利用者サービス業務」、「管理業務」など図書館の業務全体を処理できるシステムである。				<p>図書の「生涯学習の基地」としての魅力を増進し、「まちづくりの拠点」としての価値を高めるために、蔵書をICタグでの管理を行い、自動貸出サービスや予約受取サービスなどの利便性の向上を図ることで、一人あたりの貸出冊数を増加させ、市民の生涯学習の取組を推進する。加えて、蔵書管理の効率化や紛失防止など事務効率化を図ることで、より良い図書館サービスの提供に繋げる。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書にICタグ貼付</li> <li>図書システム機器及びIC関連機器の導入・設置</li> <li>自動貸出サービスや予約受取サービス</li> </ul>						
自動貸出機による 貸出冊数						
48,000冊	51,585冊					
ICタグでの貸出し可能な 図書の資料数						
289,500 冊	280,240 冊					
予約受取システムの利用件数						
2,080件	3,324件					
ひとり当たりの貸出冊数		B	<p>複合交流拠点施設monacaの開館に合わせた導入事業であり、実績を見ると、自動貸出機による貸出冊数や、予約受取システムの利用件数が増加している。また、図書館の貸出が楽になったと考える市民の割合が62.7%であり、蔵書管理の効率化や利用者の利便性の向上に繋げることができた。</p>			
3.5 冊/人	3.0 冊/人					
まちづくり活動に参加する 市民の割合						
43.9%	47.40%					
図書の貸出が楽になったと 考える市民の割合						
50%	62.7%					
新図書システム導入事業  (R6年度対象)						

地域再生計画の名称	事業概要	取組内容	KPI (令和6年度)		指標の達成度 (自己評価)	改革改善の方向性 及び課題・解決策	
			目標値	実績等			
自動操舵システム導入による スマート農業推進事業  (R6年度対象)	<p>農業の担い手が減少する中、農地の集約を図り持続的な農業を振興する取組をさらに加速させるために、高精度の位置情報データを提供可能とするRTK基地局を整備するとともに、自動操舵システム付農業機械等の導入を支援するもの。</p> <p>スマート農業を推進し農作業の省力化を図ることで、更なる農地の集約に繋げるとともに、農作物の安定供給、農家の経営安定化による稼げる農業を実現し、将来の担い手確保も図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマート農業機械へ高精度な位置補正情報データを提供する「RTK基地局」を市役所屋上に設置した。</li> <li>栃木県と連携し、農業者へスマート農業への理解と導入促進を図るため「スマート農業研修」を8月と2月に開催した。</li> <li>あわせて、スマート農業機械の導入支援を実施した。</li> </ul>	RTK基地局 利用アカウント数		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用アカウント達成率 60.8%</li> <li>自動操舵システム付農業機械等を活用した耕作面積における達成率 63.3%</li> <li>担い手農家の集積率 目標達成</li> <li>新規就農者数 目標達成</li> </ul>	<p>事業完了</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用アカウント数が想定より伸びなかったことから、「RTK基地局」やスマート農業機械導入支援事業の周知が十分に図れていなかった。解決策として、チラシの配布や引き続きスマート農業研修会、スマート農業機械導入支援を実施し、RTK基地局の利用者増加を図る。</li> </ul>
			23 アカウント	14 アカウント			
			自動操舵システム付農業機械等を活用した耕作面積				
			642ha	407ha			
			担い手農家の集積率				
			63.8%	66.9%			
			新規就農者数				
28人	30人						
デジタル窓口構築に向けた キャッシュレスレジ導入事業  (R6年度対象)	<p>真岡市では、DX戦略計画に基づきアナログサービスとデジタルサービスから利用者が選択できる「ハイフレックス市役所」をビジョンに掲げている中、窓口においてキャッシュレス決済を可能とすることで、より便利な窓口サービスを実現する。</p>	<p>非接触型のサービス提供による窓口満足度の向上を図るとともに、現在手作業で実施しているレジ締めなどの事務効率を図ることで、市民対応の時間を創出し、よりよい窓口サービス等の提供につなげる。</p>	キャッシュレス決済導入窓口数		B	<p>キャッシュレス決済利用率について、KPI未達のためBとした。売上割であると利用率は13.7%であり、手数料が高い場合に利用される傾向が読み取れる。</p> <p>現金決済の場合でも、自動釣銭機能によりスピーディかつ正確で、市民と職員両方に安心感を生んでいる。</p>	<p>事業完了</p> <p>導入事業としては事業終了。利用率は未達成であったが、キャッシュレス化は今後も伸びていくと予想されることから、広報や窓口で利便性の周知を行い、利用率の向上に努める。</p>
			2箇所	2箇所			
			キャッシュレス決済利用率				
			10.0%	6.1%			
			窓口サービスの 住民満足度				
98.4 ポイント	98.4 ポイント						